

6.15 18:00 6.16 14:00 6.17 13:00
6.22 18:00 6.23 14:00 6.24 14:00
6.26 18:00 6.27 18:00 6.28 18:00

リーグ戦再開

北の国から'18「開幕」

荒木 初スタメン 初初安打

プロ23年目
プロ23年目のシーズンがようやく「開幕」した。「9番・二塁」で今季初スタメンの荒木が、攻守で躍動。「疲れた。フル出場を終えると、思わず本音がこぼれた」
終盤で快音を響かせた。先頭の9回裏、代わったばかりの公文から外角直球を振り抜いた。鋭いた打球音を残し、打球は左中間へ。悠々と二塁打にして、通算2000安打を達成した昨年6月3日の楽天戦(ナゴヤドーム)から丸1年の日に今季初安打。狙い澄ましたような一打にも「ようやくか」と冗談めかして笑った。

「9番・二塁」でいきなりフル出場「疲れた」

今季は左足痛だった2010年以来、8年ぶりに開幕2軍スタート。しかし荒木にとっては充実した期間だった。オフから打撃フォームも昨季より左足を引いたオープンスタメンに改造。「去年のまま
でいったら(今オフ)契約してもらえないからね。新しいものを着てくり出してやってきた」。ウエスタン・リーグ25試合で打率3割5分、新フォームの手応えをつかみ、1軍での安打につなげた。
2軍だから、その取扱は守備でも厳じた。慣れ親しんだナゴヤドームの人工芝と違って、ナゴヤ球場や2軍の遠征先は土のグラウンドがほとんど。「(打球の)バウンドが10秒合わない。最初、怖くて怖くて、いい時間を過ごせた」。打球への反応を改めて学び、この日もそうなる処理してみた。

開幕から5試合目のスタメンはレギュラー定着後では最も遅かった。「開幕しましたね、いよいよ。頑張りましたよ」を荒木。止まったままだったベテランの2018年。時計の針が動きました。

(永井 聡太)



日本ハム 中日 9回裏無死、荒木が中越え二塁打を放つ(札幌ドームで撮影)